

(様式3)

自己評価結果票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>日の出福祉会の理念とふたばの里の理念に基づいてふたばの理念をつくっている。</p>	
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>月に2回会議をし、日々の業務において理念の実践を見直している。</p>	
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	<p>玄関入口にファイル類を設置しており、誰もが閲覧できる。また、地域の草引き、花見の参加、また2ヶ月に1度の家族会で家族や利用者、職員と畑をし交流を深める中で理念を理解していただいている。</p>	
2. 地域との支えあい			
4	<p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>散歩時における挨拶や畑仕事などにも気軽に話しができる関係が築けている。畑に散歩へ行くとき近所の畑にいる人から野菜をいただくこともある。</p>	
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>町内自治会の催しに毎年参加させて頂いている。草刈、花見、地域活動に参加している。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいき きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>利用者の地域参加、近所づきあいの中で、グループホームの暮らしを知ってもらうようにしている。</p>	
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>毎年、改善点には注意し、会議の上、実践に取り組んでいるが、まだ課題も残っている。</p>	<p>引き続き改善に取り組む</p>
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>H19.4月より定期的に会議が開催されている。状況報告、サービス向上の意見も頂き、ケアに活かすようにしている。</p>	
9	<p>市町との連携</p> <p>事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市町担当者との相談、意見交換を行い、サービスの向上に繋げるよう努力している。</p>	
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>勉強会で学ぶ機会をつくっている。今のところは制度が必要な方はおられない。</p>	
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>事業所内で虐待が見過ごされることがないように、会議等で話しあってきた。</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居契約時には十分な説明がなされ、利用者・家族の不安を聞き、理解、納得を得ている。様々な問い合わせにも対応できるように努めている</p>	
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>利用者が何でも訴えられる環境づくりに注意を払い、意見、不満には素早い対処に努めている。家族会を行っていることで、家族同士のつながりもあり、家族同士も話ができる。</p>	
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>スタッフによる手紙での近況報告、利用者の生活の様子が見てわかる写真入りの「ふたば便り」も毎月家族に送っている。その他、日頃から家族との連携を密にし、必要に応じ、電話や来所時に報告を行っている。</p>	
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族中心の家族会も定期的で開催しており、日常においても相談をうけとめやすい環境づくりをしている。家族からの意見、不満、苦情があった時には職員にも知らせ、解決に努力している。</p>	<p>ホーム長始め、その他職員の入れ替わりもあり、家族は介護の質の維持等について不安を持っていると思われる。家族とのコミュニケーションを密にし、意見や不満、苦情等も受け止め、改善をしながら、家族に安心していただけるように努める。</p>
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>リーダー会議、スタッフ会議と月2回の会議で意見交換ができるようにしている。職員が言い易い環境づくりにも心掛けている。</p>	
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>現状では、必要な時間帯に職員を確保するのは難しい。</p>	<p>突発的なことに対しても柔軟な対応ができるような勤務体制(人員)が望まれる。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>利用者への影響を考え伝えない場合がある。異動となった職員にたいしては報告を密にし、納得いくまで話しを行った。</p>	
5. 人材の育成と支援			
19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部研修を進めているとともに、働きながら研修の内容を取り入れ自然に行っている。</p>	
20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>平成20年10月に小野市グループホーム事業所連絡会を立ち上げ、2ヶ月に1度、集まっている。他同業者のバザーに参加し利用者の作品出店をしている。施設見学も受け入れており、交流する機会を持っている。</p>	
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>職員のストレスを軽減するために職員同士の話し易い環境づくりをしている。</p>	
22	<p>向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>職員が努力していることを認め、向上心を働きかけている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>各々利用者の状態観察に努め、個人的に話しをする機会を持つようにしている。また、表情など非言語コミュニケーションも大切にしている。</p>	
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>家族等がよく面会に来られる。家族とのコミュニケーションも大切にしており、来所時には職員と気軽に話せる環境づくりをしている。</p>	
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>その時必要としているのを職員同士共有し、見極め、支援を行っている。</p>	
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気にながら馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>徐々に馴染めるように、他の利用者と会話できる場面をもっている。</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	<p>利用者と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>利用者と家族的な関係を築けているので何でも共に言い合える関係が築けている。一緒にいる時間内は娘、孫であり、「おばあちゃん」の知恵袋を出し、特に料理や畑の場面では指導されている姿も見られる。また利用者が昔の話をされ、職員が当時の時代を知ることもある。職員が知らないことを利用者から学び、足りない所だけ手助けするという支えあう関係が構築され、喜怒哀楽を共にしている環境を築いている。</p> <p>利用者のもっている力を引き出すことが一番の介護であり、職員が教えられることの方が毎日である。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいき きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	<p>利用者を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に利用者を支えていく関係を築いている</p>	<p>誕生日等の行事以外にも、日々の訪問や外出、家族会を通じスタッフと一緒に利用者を支え、双方の安心につながる信頼関係が築けている。特に家族は家族会の趣旨をきちんと理解し、積極的にご家族が参加、協力して下さることで、皆が集まって楽しめ、利用者様を共に支え合う関係ができています。また家族との関わりを有効にし、共に利用者を支えるため、相談を受け相談をする状況づくりに努めている。</p>	
29	<p>利用者との関係のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの利用者との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している</p>	<p>利用者、家族、両方の思いや考えに耳を傾け、職員が理解を深めるよう努めることで、家族が利用者の状態を深く理解され、家族の絆を強め、良い関係になるよう支援している。また、利用者の状態を理解してもらえようように説明を繰り返し、家族に安心を提供できるように努めている。実際、家族の面会も多く利用者が淋しくないようにいい関係が築いている。</p>	
30	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>利用者がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>入居前までの行きつけの美容院や地域の集まり等その方それぞれの馴染みの場や人を大切にしており、家族をはじめ、友人、知人、馴染みの人が何時でも気軽に来所していただけるような環境づくりが出来ている。また老人会参加なども支援している。</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
31 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	それぞれの個性・考え方を理解し、お互いに支えあう気持ちを尊重している。利用者にも、お互いに支えあい、共にくらししているということを伝え、利用者同士が共に話し合い、共感し、気遣いをする等、支え合う関係もでき、利用者同士の結束も固い。 それぞれの相性はあるが日々の暮らしの中で助け合いながら生活し、できるだけ孤立しないように努めている。皆で歌を歌うのも孤立を防ぐのに役立っている。		
32 関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退去後も家族からの相談に応じたり、家族が気軽に立ち寄れる環境づくりが出来ており、退去されたり、亡くなられた家族の方も近くまで来たからと立ち寄って下さり、家族会の日に畑の手伝いに来てくださる方もある。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1.一人ひとりの把握			
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>今迄の暮らしをなるべく崩さないようにご本人の希望を聞き、それを尊重し、希望に添った形で暮らして頂けるように努めている。</p>	
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>利用者や家族から話を聞き、個々の生活スタイル(一人一人の生活歴を考えながら何にたいして興味があるか、何を希望されているか)を把握し個々に希望する暮らし方につながるよう支援している。</p> <p>部屋においてある物はいままで使ってこられた物であり、馴染みの暮らし方をしている。</p> <p>職員全員が暮らしの経過を把握できるようにスタッフ会議などで理解に努めている。</p>	
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>本人の残存機能、身体レベルを把握し、本人のペースに合わせた暮らし(一日の過ごし方を、本人にも聞き本人本位に)を支援している。その中で本人の能力を引き出し、維持できるよう日々の生活で出来ることはお願いしている。</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>家族や関係者から情報を聞き、ケアカンファレンスを行う。その上でその人らしく暮らしていただけるような、その人に添ったプランを立て、全員が把握するようにしている。また実行できるように心掛けている。その後もスタッフ間での情報交換に努め、常に話し合いがなされている。</p>	
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>体調等様々な状態の変化に応じて、利用者、ご家族、関係者と相談の上、柔軟に対応を行っているが、都度のプランの変更にまで至っていない。</p>	<p>状況の変化に応じて、利用者、家族、関係者と相談の上、プランの見直しを行う。</p>
38	<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々の様子や暮らしの中で気付いた点や工夫するところは口頭、連絡帳を利用している。実施したことは記録し、それを基にした話しあいから見直し、改善している。 一日の個々の記録は月末に個人別にファルするようになっており、介護計画にも反映している。</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39	事業所の多機能性を活かした支援 利用者や家族の状況、その時々 の要望に応じて、事業所の多 機能性を活かした柔軟な支援 をしている	毛染めに行きたい人は毛染め に行き、マッサージに行きたい 人はマッサージをしに行くとい った柔軟な支援を行っている。	
4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40	地域資源との協働 利用者や家族等の意向や必要 性に応じて、民生委員やボラ ンティア、警察、消防、文化 ・教育機関等と協力しながら 支援している	ボランティアの訪問も定期的 にあり、これからも利用者も ニーズに応じていく姿勢があ る。	ボランティアの訪問をもう少し 増やしていく予定。
41	他のサービスの活用支援 利用者や家族等の意向や必要 性に応じて、地域の他のケア マネジャーやサービス事業者 と話し合い、他のサービス利 用するための支援をしている	事業所連絡会もあり、他の事 業所とも話し合い易い関係に なっている。	他事業所との連携をさらに強 めていく。
42	地域包括支援センターとの協 働 利用者や家族等の意向や必要 性に応じて、権利擁護や総合 的かつ長期的なケアマネジメ ント等について、地域包括支 援センターと協働している	必要に応じ行っている。	

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>利用者や家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>定期的に往診してもらえる医院と関係が確立しており、日常での相談指示も受けられる。</p>		
44	<p>認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>かかりつけ医と連携している。</p>		<p>認知症の専門医との協力体制も望まれる。</p>
45	<p>看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<p>かかりつけ医の看護師に日常的指示がもらえ、相談ができる。必要時はDrの指示で訪問もしてもらえる。</p>		
46	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>入院中の家族との連絡は密に行われており、家族の不安軽減に努めている。また入院中の利用者の様子を見に行ったり、病院関係者との情報交換や相談を行う中で早期退院に向けての支援を行っている。</p>		
47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>ホームで終末期のケアと看取りを実践した経緯があり、利用者・家族かかりつけ医と密に話し、連携を取り、全員で方針の共有をしている。</p>		
48	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<p>方針を共有することで今後の変化に備えて検討や準備を行っている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>利用者が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	ダメージを最小限にとどめる為の情報交換に努めている。	
<p>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>			
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>			
<p>(1) 一人ひとりの尊重</p>			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>個々を尊重した言葉掛けや対応を行い、プライバシーについても十分配慮している。必要に応じ、個々の居室にての対応もある。利用者の部屋へ訪問するときはノックしたり、許可を得て入るようにしている。排泄については、1人ひとりの誇りを損なわないように他者に気づかれない対応を行っている。</p>	
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>利用者が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>職員に気軽に話せる環境にある。話しかけを常にし、利用者の思いをくみとるようにも心掛けている。それによって暮らしの自己決定が出来る。同時に譲り支え合うことも大切と伝えている。困難な場合は説明し理解して頂けるように努めている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>		
55	<p>利用者の嗜好の支援</p> <p>利用者が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>		
56	<p>気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>入浴は毎日実施。バイタルチェックし、一人一人の希望やタイミングにあわせて入浴していただいている。また、入浴を楽しんでいただけるよう色々な話しをしながら支援している。拒否の場合は受け入れ、次の日に入浴するよう支援し、入浴を楽しんでいただけるよう努めている。入浴剤で香り、色で楽しんでもらったり、季節を感じてもらおうものを入れたりしている。</p>	
58	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	<p>日中充実した生活をしていただき(畑や散歩で体を動かされると眠りも深いよう)、夜間によく休息できるよう努める。個々の生活リズムが崩れないように配慮し、体調変換にも応じられるようにしている。</p> <p>寝具の日光干し、シーツ、パジャマ等をこまめに洗濯し、清潔を心掛けている。又温度にも気を配り、安眠していただくよう心がけている。</p> <p>寝付けない利用者には安心して休んでいただけけるように時間をとってじっくり話しをして対応している。</p> <p>日中も利用者の状況に応じ希望や必要性のある方には自由に休息できるよう支援している。</p> <p>安眠を促すように本人の持っているまくら、布団を使用していただいている。</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>日常の会話などから生活歴やその時の希望を聴き取り、個々の生活歴を生かした役割、趣味などの支援をすることでその人らしい暮らしを支援している。生活歴を生かした役割があり、畑仕事、料理、花の世話、ものづくりにかかわる事で気晴らしになっている。また、お任せして活動していただくことによって生き活きた日々を過ごせるように努めている。</p> <p>同世代の張り合いが意欲につながり、活気のある生活を送っている。</p>	
60	<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、利用者がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>職員は、利用者がお金を持つことの重要性を認識した上で支援している。</p> <p>お金を持つことで安心感を持たれているため、混乱されない限りは、家族了承の上所持され、外出時に使えるようにしている。又、ホームで管理している利用者も必要に応じて外出や買い物時に一緒に支払いをしており、家族にも報告している。</p>	
61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>日常的には、気候、天気に配慮しながら、一人ひとりのその日の希望によって、散歩に出かけたり、畑でできている野菜を収穫し、季節を感じていただいている。ホーム内で必要な買出しにも付き添って出かけられる。</p> <p>また外出や外食も定期的に設け、四季折々、花見、もみじ狩りなどを楽しんでもらっている。</p> <p>個々の希望はその都度支援している。</p> <p>年に一度は家族同行の一泊旅行も実践している。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
62	<p>普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>	<p>ご家族との外出、家での外泊はいつでもできるようになっており、墓参り、外食にも機会があるごとに行かれている。年に1回、家族との一泊旅行もでき家族と共に楽しい時間をすごされている。季節の花木など外出は定期的に設けており、希望の場所は検討し行くように努めている。</p>	
63	<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に利用者自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>携帯電話を持っておられる方がおられ、また公衆電話を設置し、好きな時に電話がかけられる。また家族からの電話の取次ぎも行っている。遠く離れている家族からの電話で声を聞き安心を確かめあわれている。手紙も自由にやりとりができる。ただし、混乱をまねかないよう、内容を確認の上お渡ししている。</p>	
64	<p>家族や馴染みの人の訪問支援</p> <p>家族、知人、友人等、利用者の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している</p>	<p>家族や馴染みの方が気軽に来所できる環境づくりができ、状況に応じた面会を支援している。利用者は、家族が来所されるのを心待ちされ、孫、曾孫の訪問にはとろけるような顔をされている。馴染みの人達が「いい所」といって貰えるように工夫している。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援			
65	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>拘束は行っていない。常に利用者に対し、目配り気配りし、けがのないようケアしている。ベッドから転落するなど本人が不安だったり危険があるときのみ、ベッド柵を使用することがある。</p>	
66	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>出来る限り鍵をかけないようには取り組んでいる。そのため、利用者が自由に、ベランダに出て洗濯ものを干したり、玄関先で景色を眺めたり井戸端会議で話しが盛り上がっている。急な飛び出し対策としてドアベル設置しているが、職員の見守りが薄くなる時間帯の対応については利用者の状態の変化に応じて検討が必要。</p>	<p>シフトによってスタッフ1名にて対応困難な時間帯をどうするか検討中</p>
67	<p>利用者の安全確認</p> <p>利用者のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>	<p>目配り、気配りを常にし、利用者の行動パターンを把握し所在の確認をおこたらない。また一日の時間帯に応じて各利用者の所在と安全を確認している。利用者の状態に応じて、今後さらに安全面への配慮が必要。</p>	<p>今後もさらに、職員間での情報交換を密にし利用者の状態の変化に応じた対応を心がける</p>
68	<p>注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>	<p>個々の状態状況に応じて対応している。日々の生活の中で包丁、はさみ、針などを職員の見守りの中で使っている。使用後の保管、管理にも十分気をつけている。また利用者の私物についても、状態に応じて危険防止に注意しながら配置場所を決めている。</p>	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	事故等予測できることを把握し(健康状態や歩行、食事摂取時の様子などその日の状態の申し送りを徹底していく)事故防止に心がけている。おきてしまった事故等に対し会議で検討し、原因、今後の対策を話しあっている。緊急時の連絡体制ができています。勉強会や研修で事故を防ぐための知識を学ぶようにしている。		
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	急変時の対応、連絡方法等定期的におこなっている。勉強会で行うようにしている。		勉強会等の機会を増やす。
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	定期的に日中、夜間想定した避難訓練を実施している。		
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	事前に予測できる事を家族と相談を重ね、対応策を話し合っている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>	<p>毎日バイタルチェックを行い、異変がある場合は職員同士申し送り等で話をし共有している。必要に応じて医師に相談、早急に対応している。</p>	
74	<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>服薬時、氏名を確認しながら行い、服薬記録をつけている。副作用についても処方せんなどで確認を行い、処方の変化や症状の変化も申し送りが確立されている。</p>	
75	<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	<p>排便状態、周期をチェックし、腹部の状態にも気を配っている。</p> <p>起床時に冷水飲用や献立に繊維質の食材を使用したり、きなこ牛乳を飲んでもらっている。</p> <p>毎朝散歩も促している。掃除も運動になっている。</p>	
76	<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れやにおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	<p>口腔ケア(ブラッシングや義歯洗浄など、その人に応じた口腔ケア)は起床時、就寝時に行っている。ご自分でされた後、職員が確認している。</p> <p>外に出たときはうがいを行っている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>		
78	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肺炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>		マニュアルづくりが必要
79	<p>食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(1)居心地のよい環境づくり			
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		
84	<p>換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>		
85	<p>身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>		
86	<p>わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>		
87	<p>建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>		

( 部分は第三者評価との共通評価項目です)

. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと)
項 目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

家庭的な雰囲気を大切にしながら充実した日常生活を送っていただけるよう日々努めている。

利用者と共に家事や畑仕事などで体を動かし、新聞やニュースで感じた事を話し、昔の思い出を語っていただくなど、喜怒哀楽を共にする事により、脳を刺激して認知症のレベル低下を防ぐ取り組みに努めている。

利用者と職員が何でも言い合え、気兼ねなしに生活し、暮らしていただけるように努めている。

お互いに相手を尊重し支え合う”家族”のような関係を築いていくよう力を入れて取り組んでいる。

毎日の何気ない会話や家事、畑仕事など共に暮らす時間を積み重ね、信頼関係を作り、住む場所は変わっても今までと変わらない普通の生活をしていただけるよう支援している。

これからも、利用者が目指す「元気で長生き」を目標に、自分でできるところは自分でしていただき、出来るだけ介助を必要とせず、終末期まで元気で過ごしていただき、毎日の生活の喜怒哀楽を共有し、支え、支えられる関係でありたい。そして利用者が、誰一人孤独な思いをしないで、今を精一杯幸せに暮らしていただき、心から「ここはいい所や」と言っていたけように職員が連携し、一丸となって支援していく。